

1 看護行為で生じる身体活動の測定・評価

2 神経難病患者の療養下における看護実践の可視化に関する研究

【キーワード：看護行為、身体活動、筋電位活動、神経難病看護】

領域・氏名

専門基礎分野（看護人間学Ⅱ） 講師／ 藏元恵里子

概要

看護の効果を可視化するための試みとして、看護行為に伴う身体活動や、表情変化で生じる顔面筋電位活動を計測し、看護学的検討を行ってきました。

また、臨地実習を担当した経験から、神経難病患者の療養下における看護学現象を可視化するため、看護学実習の内容分析・看護師からの語りの分析についても取り組んでいます。

具体的な内容

筋活動を視覚的に捉える手法として、筋電位トポグラフィ法があり、筋活動の部位や強さを色の濃淡で識別することができます。これを表情筋へ応用することにより、表情変化に伴う筋活動の変化を可視化することで、看護師の患者理解に対する客観性を高めることができるのではないかと考えています。これまで、無表情、笑顔、不快表情の作為的表情表出の指示を行い、顔面筋電位トポグラムを作成し解析を行いました（科研費：16K20727）。

また、看護大学1年次生が、神経難病患者の生活環境下の実習において、どのような事象に着目し、看護観につながる認識が形成されているか、その特徴を分析しました。現在、看護実践における語りから看護学的概念を分析しています（科研費：18K10246）。

Information（情報）

コ・メディカルの学生を対象とした生理学実習について講義を行っています。看護学生が人間のからだのしくみを統合的に描くための基礎的研究に取り組み、学習過程をどのように工夫すれば看護の専門性として高められるか、検討しています（宮崎県立看護大学平成30年度若手奨励研究）。